

戦国の世から代々名主家に伝わった文書群
すずきさぶろうけぞうこもんじよ
鈴木三郎家蔵古文書



鈴木家は、戦国時代から 請西村の名主を代々勤めていました。当家には、安土桃山時代にあたる天正20年（1592）の検地帳（県指定文化財）から明治時代に至る多量の古文書が保存されていました。その多くは、江戸時代の農民生活を知るうえで大変貴重な史料です。

市指定文化財：有形文化財（古文書）
指定年月日：昭和40年6月17日
所在地：木更津市太田2-16-2（木更津市郷土博物館金のすず）
所有者：木更津市
員数：一括
公開・非公開の別：非公開
